

中学生・高校生 \*\*\*\*\*

北見第二中学校1年A組の一人一人の物語。何気ないけれど、かけがえのない日々の中で、それぞれがいろんな思いを抱え、成長していきます。千鶴、しほりん、蒼太、ハセカン…24人分を読み終える頃、次の春がやってきます。	「人來たら蛙となれよ冷し瓜」…俳句を取り上げつつ、俳人小林一茶の生涯をたどった、アメリカで発行された絵本の翻訳。一茶の句とその英訳、さらに現代語訳と情感ある絵で、一茶の世界を十分に味わえます。	「世のため人のためにどれだけ尽くすことができるか。」「思いがあれば3倍の努力は当たり前だ」…偏差値50以下、3浪の後医学部で学び、医師となった著者。年間500以上の手術を行うなど、ひたすら腕を磨いてきた心臓外科医が、人生の切り開き方、仕事への情熱を語ります。	10代で失聴した著者は自身の体験から、聞こえる世界と聞こえない世界をつなぐためのユニバーサルデザインに関する仕事を始めます。誰もが暮らしやすい社会の実現を目指す、熱い思いが伝わってきます。	中学2年生の悠太には、同居している叔父「ぐうちゃん」がいる。世界を旅してきたぐうちゃんの話す各地の生活や風物には、驚くことばかり。大切なのは『不思議頭』『やわらか頭』。狭い常識にとらわれず、広い世界、広がる宇宙に思いをはせることができます。

蓮池がある母の実家を訪れた中学2年生の莉子は不思議な話を聞きます。「蓮のつぼみには人の『想い』がつかまっていて、ぼん、という花が開く音を聞いた人はそれを受け取る」というのです。莉子が蓮の花に耳を傾けると…	本が大好きな少年・吳承恩が旅の途中で出会ったのはなんと、本を食べる不思議な少女・玉策でした。彼女は本を食べることでその文字を書いた人の過去や未来を見ることができると。明の時代の中国を舞台にしたファンタジーです。	エンドーくんは成績優秀、スポーツ万能、緑山中学校に伝わる伝説の生徒。校舎のあちこちには「エンドーくんたすけて」「エドワードの愛はふめつ」などの落書きが。落書きをきっかけに日々の学校生活に、自分自身に、真剣に向き合う先生と生徒たち。はたして、エンドーくんとは?	2014年に史上最年少、17歳でノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイ。11歳の頃から女の子が学校に通う権利を訴え続けてきた彼女の手記には、強い意志と平和への願いが書きとめられています。同世代の人に読んでもらいたい本です。	アーサーは幼い頃、児童移民としてイギリスからオーストラリアの牧場へ連れて行かれました。奴隷のように働かされる彼は、ある日親友と一緒に牧場から逃げ出します。過酷な現実を生き抜いた戦災孤児・アーサーとその娘アリーの、親子二代の物語です。

編集・発行 愛媛県立図書館（読書振興グループ）  
掲載については出版社の許諾を得ています。無断で転載することを禁じます。

児童書を豊富に取り揃えた  
**子ども読書室**  
幅広い分野の児童書を揃え、季節、作家、各種テーマに沿った本の特別展示、掲示の工夫をして、子どもや大人が本を手取るきっかけや本を選ぶ際の支援をします。また、本の紹介や調べものの支援を行い、子どもと本の出会いを応援します。

子どもの読書に関する相談窓口  
**子ども読書支援センター**  
地域の読書活動を支えるキーステーションとして、また、子どもの読書に関する総合的な案内窓口として、みなさんの相談に応えます。子どもの読書に関することなら何でも、遠慮なくお問い合わせください。

連絡先

〒790-0007 松山市堀之内 愛媛県立図書館  
子ども読書室・子ども読書支援センター  
TEL:089-941-1441(代表) FAX:089-941-1454  
http://www.ehimetosyokan.jp/



たん けん  
**探検しよう!**  
ほん くに  
**本の国**  
子どもにおすすめの本 2015  
愛媛県立図書館



昨年1年間に発行された子どもの本の中から、幼児から中高生までを対象に、50点を選びました。家庭での読書や、学校での読書指導の参考になれば幸いです。価格は、平成27年3月末現在の本体価格です。

幼児 \*\*\*\*\*

森にやってきた4人組はきれいな鳥を発見!「ゆっくり、ゆっくり。そっと、そっと。しーっ!」怪しい4人組は秘密の作戦を実行します。ドキドキ、ワクワク。青を基調にした絵と鮮やかな動物の色の対比が美しい絵本です。	「ぼんちんぱん ちぎちぎぱん ちぎちぎぱん」リズムカルな言葉が楽しい写真絵本です。子どもたちが大好きな、ふわふわのおいしいそうなパン。ページを次々にめくりたくなります。	小さな黄色のどんぐりがひとつ地面に落ちて転がりました。いろんな動物たちがやってきて食べようしますが、「お願い、今は食べないで。今にもっとおいしくなるから」と、どんぐりは言います。繰り返し楽しい絵本です。	「おしっこがたがりませんように」「おっかない夢を見ませんように」男の子は眠る前にしぎぶとんさんとかけぶとんさんとまくらさんをお願いします。すると彼らは「まかせろ、まかせろ」と言って彼を優しく包んでくれるのでした。	クマ、ハト、サカナ、カメなど生きものたちはどのように眠っているのでしょうか。1960年にアメリカで出版された絵本ですが、今読んでも古さを感じさせません。おやすみ前に読みたい一冊です。

人間は昔から様々な乗り物を使って、工夫して物や人を運んできました。そんな「はこぶ」のために使われてきた乗り物たちをイラストで紹介しています。もっと早く、もっと遠くまで、荷物を運ぶ人たちの思いと一緒に運びます。	時計屋さんで売られている青色の小さな目覚まし時計のあおくん。あおくんは自分のベルの音が大好き。長い間鳴らしてないので早く誰か買いに来てくれないかなと思っています。するとそこにお客さんがやってきて…	小さな女の子・マリアと子ネズミのネズネズは同じ家に住む内緒のお友達。ある夏の晩、一人と一匹はそれぞれ寝る準備をし、ベッドからママを呼びました。ところがママは見当たりません。家中を探し始めると…	こぎつねのこのんじいちゃん、瓜作りの名人。夏になると人間に化けて都に瓜を売りにいきます。このも都に行ってみたくて、毎日人間に化ける練習をします。こっすりじいちゃんについていったこのんは、都でどんなことのであうのでしょうか。	「いえでをすたくなつたので」きょうだいみんなが荷物をまとめて、みんなが好きな大きな木に引っ越しました。でも、風で吹き飛ばされてしまいます。また、荷物をまとって次の場所へ。楽しそうな子どもたちの姿が印象的です。

小学1・2年



<p><b>あひるの手紙</b> 朽木祥/著 ささめやゆき/絵 佼成出版社 ¥1,200</p> <p>ある小学校の1年生のクラスに手紙が届きました。そこに書かれていたのは「あひる」の一言。差出人は「けんいち」。この手紙をきっかけに、1年生のみんなとけんいちさんの文通が始まります。気持ちを伝え合う喜びが伝わる物語です。</p>	<p><b>かぞくのヒミツ</b> イソール/作 宇野和美/訳 エイアールデー ¥1,500</p> <p>「ないしょだよ。うちのママ、ほんとはね…」ママのヒミツを知ってしまったあたし。でも、誰にも相談できない。どうしよう…。不安なまま友達の家に泊まりにいくと…?あなたにも思い当たる「かぞくのヒミツ」があるかも。</p>	<p><b>ちいさなちいさなめに みえない びせいぶつの せかい</b> ニコラ・デイビス/文 エミリー・サットン/絵 越智典子/訳 ゴブリン書房 ¥1,500</p> <p>私たちの周りにいる、小さな小さな「微生物」。その存在と私たちの暮らしとの関わり、自然界での大きな役割を分かりやすく教えてください。美しい色合いの挿絵にも魅了される科学絵本です。</p>	<p><b>先生、しゅくだい わすれました</b> 山本悦子/作 佐藤真紀子/絵 童心社 ¥1,100</p> <p>宿題を忘れたゆうすけは先生にウソの言い訳をします。すると先生は、「ウソだとばれなくて、聞いた相手が楽しくなるような」理由を考えなさいと言います。次の日から、他の子たちも宿題ができない理由を考え始めるのですが…。</p>	<p><b>食べているのは生きものだ</b> 森枝卓士/文・写真 福音館書店 ¥1,300</p> <p>人間が食べる塩以外のものは生きものから作られています。加工食品があふれる現代では、生きもの命を頂くという感覚が薄くなるのは仕方ないかもしれませんが、今一度、自分たちが食べているものについて考えてみませんか。</p>



<p><b>クレヨンからのおねがい!</b> ドリュー・デイウォルト/文 オリヴァー・ジェファーズ/絵 木坂涼/訳 ほるぷ出版 ¥1,500</p> <p>ケビンが、いつものように絵を描こうとすると、クレヨンの箱の上に手紙の束がありました。それはなんと、クレヨンたちからケビンへの手紙だったのです。クレヨンたちの視点でお話が進む、なんとユニークな絵本です。</p>	<p><b>しゅくだい さかがり</b> 福田岩緒/作・絵 PHP研究所 ¥1,100</p> <p>ゆうたは逆上がりができません。できない人は夏休みの宿題です。でも、ゆうたが練習を始めたのは、残り1週間となつてから…。何度やってもできないときの焦り、もうすぐできそうな時の気持ちや喜びなど、ゆうたの心の変化が生き生きと描かれています。</p>	<p><b>お話かせてクリストフ</b> ニキ・コーンウェル/作 渋谷弘子/訳 中山成子/絵 文研出版 ¥1,200</p> <p>内戦が続くアフリカのルワンダからイギリスに逃れてきたクリストフ。腰の上の傷跡を友達に見られたことがきっかけで、うまくいかなかった学校生活が一変します。難民の通訳をしていた著者の経験から生まれた作品。</p>	<p><b>ライオンのひみつ</b> マーガレット・ワイルド/文 リトバ・ボウティラ/絵 木坂涼/訳 国土社 ¥1,400</p> <p>石でできた動物が心の底から願えば、一度だけ、それも短い時間だけ動くことができるのです。図書館前に座っている石像のライオンが、強く「動きたい」と思った時とは。ページごとに違うライオンの表情にも注目!</p>	<p><b>おへんろさん</b> 宮脇紀雄/文 井口文秀/絵 小峰書店 ¥1,500</p> <p>かあちゃんのいないタケの家に、お遍路さんがやってきました。お遍路さんは、かけ崩れで夫と子どもを亡くしたという、優しくきれいなおばちゃんでした。一晩だけのふれあい…。昔ながらの風景と方言がおりなす、やさしさあふれる物語。</p>

小学3・4年



<p><b>メリサンド姫</b> むてきの算数! E・ネズビット/作 灰島かり/訳 高桑幸次/絵 小峰書店 ¥1,300</p> <p>ある国にかわいいお姫様が生まれましたが、妖精の呪いで髪の毛が生えないまま、「切るたびに倍に伸びますように」。この願いが叶うとどうなるでしょうか?やさしいメリサンド姫とかしこい王子×算数の物語。</p>	<p><b>『赤毛のアン』と花子</b> 翻訳家・村岡花子の物語 村岡恵理/文 布川愛子/絵 学研 ¥1,300</p> <p>カナダの物語、「赤毛のアン」を日本で初めて紹介した翻訳家、村岡花子。アンと花子の人生は、不思議に似ていたのです。勉強、友達、家族のこと、そして戦争。さまざまな困難を乗り越え、本を通して希望を届けた一人の女性の物語です。</p>	<p><b>ふしぎなともだち</b> たじまゆきひこ/作 くもん出版 ¥1,500</p> <p>小学2年生の冬休みに引越すことになった僕。転校先の島の小学校で出会ったのが自閉症のやっくんです。困ったことも起こるけれど、心優しいやっくんは不思議な友達。大人になっても友達です。淡路島に住む青年たちがモデルとなっており、共に生きることの大切さが優しく描かれています。</p>	<p><b>アヤカシさん</b> 富安陽子/作 野見山響子/画 福音館書店 ¥1,400</p> <p>4年生のケイは、他の人には見えない「アヤカシ」を見ることができず。メイおばさんは見えても無視すること、と言うのですが…。「何か事情があって」現れるアヤカシは、ケイに助けを求めてきます。その事情とは?いろいろな人が、物が、つながっていきます。</p>	<p><b>ソフィーのやさしいばけ</b> ゲルダ・ミュラー/作 ふしみみさを/訳 BL出版 ¥1,700</p> <p>ソフィーのおじいちゃんとおばあちゃんは、広い畑でたくさんの野菜を作っています。今年ソフィーも、種まき、水やり、植え替え、害虫退治、収穫などに挑戦します。野菜の種類や畑にいる生きもの、できた野菜の行方まで、ソフィーの畑と一緒に知ろう!</p>



<p><b>ツン子ちゃん、おとぎの国へ行く</b> 松本祐子/文 佐竹美保/絵 小峰書店 ¥1,400</p> <p>お母さんに、「あなたは生まれる前に悪い魔女に大切なものを盗まれたのね」と言われたツン子ちゃんはそれを探するために、満月の夜、不思議なおとぎの国へ旅立ちます。ツン子ちゃんは「大切なもの」を取り戻すことができるのでしょうか?</p>	<p><b>草と木で包む</b> U.G.サトー/文と絵 後藤九・酒井道一/写真 福音館書店 ¥1,300</p> <p>私たちの祖先は、自然に感謝しながら、草や木を使って食べ物や道具を作りました。笹や竹、わらなどをそのまま使ったり、結んだり、編んだりして、食べ物のおいしさや新鮮さを保つ、日本の包む文化のすばらしさが感じられる本です。</p>	<p><b>トイレをつくる 未来をつくる</b> 会田法行/写真・文 ポプラ社 ¥1,500</p> <p>東ティモールのマヌタシ村では、野外で排泄する習慣が残っているため、下痢や感染症で命を落とす子どもが多くいます。それを防ぐため住民たちが地面に穴を掘ってトイレを作り、大切に使っています。自然と命を考える写真絵本です。</p>	<p><b>ハヤト、ずっといっしょだよ</b> 井上こみち/著 平沢明子/絵 アリス館 ¥1,400</p> <p>馬が大好きなマキは乗馬インストラクター。誰にもつかない馬のハヤトと出会い、一生懸命命を賭して、毎日一緒にいて、心を通わせます。マキは、結婚する時もハヤトを連れていきました。人と動物の心のつながりを描いた作品です。</p>	<p><b>ペニーさんのサーカス</b> マリー・ホール・エッツ/作・絵 松岡享子/訳 徳間書店 ¥1,400</p> <p>いろいろな動物と仲良く暮らすペニーさん。ある晩、サーカスから逃げたチンパンジーとクマが彼のところへやってきました。ふたりの買い取るためにペニーさんはサーカスに向かいますが、それにはたくさんのお金が必要だと言われて…。</p>

小学5・6年



<p><b>動物のおじいさん、動物のおばあさん</b> 高岡昌江/文 すがわらけいこ/絵 学研 ¥1,400</p> <p>動物園の動物にも人間と同じように、おじいさん、おばあさんがいます。その人生を飼育員さんたちが語ります。動物好きはもろろんのこと、動物に関わる仕事にあこがれている人にもおすすめです。著者は松山市出身。</p>	<p><b>思い出をレスキューせよ!</b> 「記憶をつなぐ」被災地の紙本・書籍保存修復士 堀米薫/著 くもん出版 ¥1,400</p> <p>「紙本・書籍保存修復士」である金野聡子さんの活動を描いたノンフィクションです。東日本大震災で被害を受けた、多くの写真や文書(もんじょ)を修復し、思い出を救ってきた金野さん。紙で作られた本の力を改めて考えさせられます。</p>	<p><b>あしたも、さんかく</b> 安田夏菜/著 宮尾和孝/絵 講談社 ¥1,300</p> <p>クラスで浮いてしまい、自信をなくし落ち込む圭介。そんなとき、落語家を破門された圭介の貯金を使い込んで行方不明になっていたじいちゃんが現れます。落語コンクールで優勝し、お金も返すと言っじいちゃんでしたが…。「さんかく」の意味にじんとききます。</p>	<p><b>ぼくの、ひかり色の絵の具</b> 西村すぐり/作 大野八生/絵 ポプラ社 ¥1,300</p> <p>写生の時間、先生に納得のいかない絵を描かされ、傷ついてしまったユク。でも、憧れの少女ハネズから励まされ、しだいに絵を描くことの意味、喜び、そして自分自身を発見していきます。さわやかな物語。</p>	<p><b>サマセット四姉妹の大冒険</b> レズリー・M・M・ブルーム/作 尾高薫/訳 中島梨絵/絵 ほるぷ出版 ¥1,600</p> <p>心を閉ざした少女コーネリアの家の隣に、すてきな老作家ヴァージニアが引っ越してきました。ヴァージニアが語る自由奔放な冒険談に引き込まれていくコーネリアは、人生と向き合う力を身に付けていきます。心温まる少女の成長物語です。</p>



<p><b>いっしょにアンベ!</b> 高森美由紀/作 ミロコマチコ/絵 プレーベル館 ¥1,400</p> <p>ノボルの家に、震災で両親を亡くした有田がやってきます。最初は反発していたノボルですが、一緒に過ごす中で、有田の心の傷の深さを知っていきます。有田もまた、ノボルの悲しみを感じ取るのです。タイトルが胸に迫ります。</p>	<p><b>わたしの心のなか</b> シャロン・M・ドレイパー/作 横山和江/訳 鈴木出版 ¥1,600</p> <p>脳性まひの少女メロディは、話すことも歩くこともできません。でも、心の中にはたくさんの言葉があふれているのです。自分の代わりに声を出してくれるパソコンを手に入れ、クイズ大会の学校代表になったのですが…。家族や友人たちとの絆、メロディの勇気と行動力に心打たれる物語。</p>	<p><b>ゾウがとおる村</b> ニコラ・デイビス/文 もりうちすみこ/訳 アナベル・ライト/画 さ・えろ書房 ¥1,300</p> <p>インドの少年ウィレンの村は、ゾウの被害にたびたび遭っています。そんなとき、開発計画が持ち上がりました。悩む村人たち。内気だったウィレンが、ゾウも村も森も守るために取った行動とは。</p>	<p><b>食べて始める食卓のホネ探検</b> グッチョ先生のホネコレクション 盛口満/文・絵 少年写真新聞社 ¥1,800</p> <p>グッチョ先生の楽しいホネのお話と緻密なイラストが、あなたをホネの世界にいざないます。クイズやホネ・パズルにも挑戦してみよう!ホネを身近に感じること間違いなしです。</p>	<p><b>ジェドおじいさんとはとこやさん</b> マーガリー・キング・ミッチェル/作 ジェームズ・ランサム/絵 渋谷弘子/訳 汐文社 ¥1,600</p> <p>自分の店を持つためにコソコソとお金をためているジェドおじいさん。何度となく困難があり、夢がかなったのは79歳のときでした。ジェドおじいさんの生き方を通して「夢をあきらめないこと」の大切さを教えてください。</p>